

乳房文化研究会 定例研究会

「フェムテック～女性の健康課題を科学技術で解決する～」

近年、「フェムテック」という用語を耳にされたことがある方が増えてきたかもしれません。この度、私たちは「フェムテック～女性の健康課題を科学技術で解決する」をテーマに、研究会を開催いたします。

本研究会では、コーディネーターの赤澤よりフェムテックに関する取り組みをご紹介した後、国立成育医療研究センターに新設された女性の健康総合センターの松原圭子先生をお招きし、新組織におけるお取り組みのご紹介を頂きます。また、参加者の皆様と共にダイバーシティ推進と女性の健康課題や「フェムテック」という用語の定義について、共に考える機会をつくりたいと思います。

■ 2025年2月8日（土）

13:30 開場&オンライン開始

14:00～14:05 開講挨拶 河田光博（乳房文化研究会長）

14:05～14:25 「島津製作所における女性の健康課題に関する取り組み」

赤澤礼子（乳房文化研究会運営委員／

株式会社島津製作所 基盤技術研究所 未来戦略推進室 企画グループ）

14:25～14:55 「女性のライフコースを支える健康支援～現場の知見と新たな挑戦～」

松原圭子先生（国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター

オープンイノベーションセンター準備室 室長）

14:55～15:05 休憩

15:05～16:25 質疑・議論：松原先生・参加者 コーディネーター 赤澤礼子委員

16:25～16:30 閉会

16:45～17:45 懇談会 参加費 1000円（学生無料）

松原 圭子先生（まつばら・けいこ） プロフィール

国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター オープンイノベーションセンター準備室 室長

<略歴>

2002年浜松医科大学卒業後より、東京医科歯科大学（現東京総合大学）、東京都立墨東病院、取手協同病院（現 JA とりで総合医療センター）、横浜市立みなと赤十字病院にて、小児科および新生児診療に従事。2008年より国立成育医療研究センター分子内分泌研究部にて、希少遺伝性疾患、小児内分泌疾患の分子遺伝学的研究、2022年より同センター内の衛生検査センターにて遺伝性疾患の臨床検査受託事業に携わる。同年、ダイバーシティ研究室長に着任し、ダイバーシティ実現推進プロジェクトにも関わる。2024年11月より、女性の健康総合センターオープンイノベーションセンター準備室室長を併任し、女性のライフコースや性差を踏まえたデータ駆動型研究やバックキャスト型の研究開発体制の構築に関わる。「女性が自らの心身を慈しみ、主体的な選択を重ね、健康で幸せな日々を送るために、わたしたちは何を『つくる』ことができるのか」。現在、医療系アカデミアにおけるオープンイノベーションのありかたを模索中である。

<主な所属学会、団体など>

日本小児科学会／日本小児内分泌学会／日本人類遺伝学会／日本遺伝カウンセリング学会
日本産科婦人科学会／日本内分泌学会／日本小児遺伝学会

■コーディネーター 赤澤礼子（あかざわ・あやこ）

株式会社島津製作所 基盤技術研究所 みらい戦略推進室 企画グループ
／乳房文化研究会運営委員